

ほかほかタイムズ

第1回目の「ほかほかタイム」は、学校支援地域コーディネーターの諏訪富一様、菊地典子様、大竹幸子様をお招きして、お話を伺いました。3人は、地域のボランティアさんと学校をつなぐというとても大切なお仕事をされています。(3人のお話は紙面の都合上、そのままではなく要約しています。御了承ください。)



菊地典子さんのお話： 学校支援地域コーディネーターになったきっかけは、息子が小二のときに、何かやれないかと読み聞かせを始めたことでした。でも、作文や読書が苦手で好きではなかったので、絵本をたくさん読んだり、地域で行われている勉強会にたくさん参加して一生懸命勉強したりしました。この仕事をしていますと、多くのボランティアの方と会うことができたり、たくさんの元気とエネルギーを子どもたちから与えてもらったりしています。また、いろいろな年代の方々と温かい気持ちで接することができて、楽しい時間を過ごすこともできました。この仕事を通して、先生方や地域の皆さんに見守られて子どもたちは育っているんだなあと感謝の気持ちが湧いてきています。最後に、みなさんにお願ひがあります。嫌だなあと感じることもや苦手なことにも、どうか勇気を出して取り組んでみてほしいです。児童のみなさん、先生方、ボランティアさんの笑顔で、今三小を素敵な学校にしたいと思っています。

大竹幸子さんのお話： 学校支援地域コーディネーターの仕事を始めるきっかけは、息子が1年生になったときです。保育園の時に自分の嫌なことをはっきり言えないところがあったことが心配で、ボランティアとして二人で入学しようと思いました。読み聞かせからはじめて、今年で9年目になります。息子も今では身長174cmなどとても大きくなりました。ボランティアをやっていると、みんなかわいくて、こんな小さな時もあったのかと感じたりして、私自身の子育てにパワーをもらえています。また、ずっと続けているものがあるということは、何事にも頑張れることにつながっています。小さな事でも、365日間ずっと続ければ、きっとみんなの自信につながると思っています。そんな毎日の授業のお手伝いに入れるのが、このボランティアさんです。わたしは、お掃除や花壇のことを担当しています。今度の二宮活動で、マリーゴールドを植えます。みなさんも、ぜひ協力してください。



諏訪さんには、まず最初にボランティアの様子の写真のスライドを使って、分かりやすくボランティア活動全体のご説明をいただきました。



諏訪富一さんのお話： 私たち3人は学校支援地域コーディネーターをしています。菊地さんは学習面、大竹さんは環境面、そして私は安全面でのコーディネーターをしています。私は、週に1回、青いランプをつけた青パトでパトロールをしています。私がこの活動をするきっかけとなったのは、9年前に大沢小で青パトが県警にスムーズに認可されそうだと新聞記事を見たことでした。その1年前に今三小でもお願いしたのにだめだったけれども、大沢小学校では、誘拐事件という悲しい事件があったので、すぐに青パトが認可されたのです。でも、今三小にだって安全のために必要ではないかと、知っている人にお願ひして仲間に入れてもらいました。それで今でも私はみなさんの安全のためにパトロールをしています。でも、最後に命を守るのは自分ということをお忘れなくください。パトロールをしていて一番の励みになるのは君たちの笑顔です。笑顔で手を振ってくれると、とても嬉しいです。

子どもたちは、日頃からお世話になっているボランティアのみなさんを学校につなげてくださっているコーディネーターの方々の仕事を改めて知るとともに、感謝の思いも深めることができました。ありがとうございました。

※子どもたちの感想は、裏面に載せてありますので、御覧ください。

☆保護者の皆様から、御意見・御感想がありましたら、お寄せください。

氏名 () 児童名 (年 組)

担当：根本

次回ほかほかタイム
7月4日(水)1:15～
講師：学校支援ボランティア
大木 美保子様
体育館東入口からお入りください。
スリッパを御持参ください。

次号の道徳だよりに、匿名で御意見・御感想を掲載させていただきたいと思ひますので、御了承ください。

